

シラバス

作成日

2025.3.28

科目名	国語			担当教員名		永楽 仁八			☐ 実務経験		
学科名	公務員		学科	学年	1	単位数(時間数)			4単位 (100 時間)		
実施時期	4 月 ~ 10 月	授業形態	講義	☐ 〇	演習		実習		実技		〇は主、△は併用
教科書 及び参考書	公務員テキスト③一般知能 講義編 公務員テキスト⑥一般知能 ワークブック										

授業の概要とねらい

社会人に必要とされる国語力（読み・書き・知識・表現）の基礎を定着させる。

到達目標

公務員採用一次試験合格のための講座として実施する。

授業計画

授業項目・内容	時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)
文章：内容把握	10	
文章：空欄補充	10	
文章：文整序	10	
古文	5	
作文	5	
一般知識：日本文学	5	
一般知識：海外文学	5	
一般知識：美術史・音楽史	5	
漢字（読み・書き取り）	5	
同音異義語・反意語	5	
四字熟語	5	
ことわざ	5	
文法・敬語	5	
模試演習・解説 1	2	
模試演習・解説 2	2	
模試演習・解説 3	2	
模試演習・解説 4	2	
模試演習・解説 5	2	
模試演習・解説 6	2	
模試演習・解説 7	2	
模試演習・解説 8	2	
模試演習・解説 9	2	
模試演習・解説 10	2	
合 計	100	

時間外学習について

作文課題を仕上げる。

成績評価の方法及び評価割合について

作文については3段階（A/B/C）で評価する。

その他（科目と実務経験との関連性について）

[illegible]

2025.3.28

科目名	公 民(政治・経済・社会・倫理・時事)			担当教員名		木村 治敦		□ 実務経験	
学科名	公務員			学科	学年	1	単位数(時間数)		100時間
実施時期	4 月 ～ 10 月		授業形態	講義	○	演習	○	実習	実技
教科書 及び参考書	高卒程度 公務員試験対策 社会科学 テキスト 高卒程度 公務員試験対策 社会科学 問題集								
授業の概要とねらい									
公務員試験に出題される社会科学分野のうち「政治」、「経済」、「社会」、「倫理」及び「時事」について公務員試験に出題される範囲を解説していく。また、知識定着度の確認及び応用力をつけるために、センター試験や過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。また、暗記に頼らないように、根本原理やシステム・考えを説明していき、苦手意識の撤回をしていく。									
到達目標									
公民分野の得点率を8割に設定する。									
授業計画									
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)			
民主政治の成立					2				
世界の主な政治体制					2				
大日本帝国憲法と日本国憲法					2				
基本的人権の尊重					2				
国会					2				
内閣					2				
裁判所					2				
地方自治					2				
現代政治の課題					2				
国際法と国連					2				
国際政治の課題					2				
市場と需要・供給曲線					2				
企業					2				
経済学					2				
国府と経済成長					2				
金融					2				
財政と財政政策・金融政策					2				
日本経済の発展					2				
貿易と国際収支					2				
国際経済					2				
環境と資源					2				
科学技術の発展					2				
私たちの経済活動					2				
社会保障制度					2				
私たちと農業					2				
古代ギリシャ思想					2				
仏教・イスラム教・中国の思想					2				
日本の思想					2				
西洋思想①					2				
西洋思想②					2				
時事					2				
問題演習(センター試験・過去問など)					38				
合 計					100				
時間外学習について									
誤答ノートの作成を指導する。本番直前には集中講義を行う。									
成績評価の方法及び評価割合について									
その他(科目と実務経験との関連性について)									

科目名	世界史			担当教員名	高山 一雄			☒ 実務経験			
学科名	公務員	学科		学年	1	単位数(時間数)	単位 (50時間)				
実施時期	4 月 ~ 10 月	授業形態	講義	☐	演習	☐	実習	☐	実技	☐	○は主、△は併用
教科書	人文科学テキスト										
及び参考書	人文科学問題集										
授業の概要とねらい											
高校世界史は必修科目だが、A科目の者が多いので、公務員試験には厳しいレベルである。まず、6月末か7月中旬終了をめどに、「一般知識（上）講義編」の空欄を埋め、小問に答える形で基礎的事項を復習していく。復習終了以降は、上記問題集や校内模試問題のやり直し、解説を繰り返し、公務員試験問題を解けるようにする。											
到達目標											
世界史の大きな流れを理解させ、基礎的・頻出問題の7割は正解できるようにし、問題全体として5割以上の正解を目指す。											
授業計画											
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)					
1 章 四大文明 1, 2					2	本時の概略を説明する。 配布プリントをもとにテキストの空欄を埋め、重要箇所をチェックする。 プリントの小問に答える。 校内模試等のやり直しとその解説。 整理プリントの配布とその解説。					
2 章 ギリシア文明					1						
2 章 ローマ帝国					1						
3 章 中世ヨーロッパ世界 1, 2					2						
4 章 近代ヨーロッパの形成 1, 2					2						
5 章 中国史 1, 2					2						
6 章 イスラム世界の形成と発展					2						
7 章 市民革命 1, 2, 3					3						
8 章 ヨーロッパ諸国の東進 1, 2					2						
9 章 現代社会 1, 2, 3					3						
問題演習 1 - 公務員試験問題集での問題演習					30	問題を解き、解説プリントを参考に重要事項や間違いやすいところなどを押さえる。					
問題演習 2 - 公務員試験の過去問、校内模試の問題での問題演習											
					50						
時間外学習について											
高校時代の教科書などを利用して、テキストの空欄を埋める。校内模試等のやり直しをする。											
成績評価の方法及び評価割合について											
その他（科目と実務経験との関連性について）											

科目名	日本史				担当教員名		高山　一雄		☐ 実務経験													
学科名	公務員			学科	学年		1		単位数(時間数)		単位（50時間）											
実施時期	4　月　～　10　月		授業形態	講義	○	演習		○	実習			実技		○は主、△は併用								
教科書 及び参考書	人文科学テキスト 人文科学問題集																					
授業の概要とねらい																						
高校日本史は選択で、履修していても日本史Aの者が多いので、まず、6月中旬か月末終了をめどに、「一般知識（上）講義編」をもとに、その空欄を埋め、小問に答える形で復習していく。復習終了以降は、上記問題集や校内模試問題のやり直し、解説を繰り返し、公務員試験問題を解けるようにする。																						
到達目標																						
日本史の大きな流れを理解させ、基礎的・頻出問題は必ず正解できるようにし、問題全体として6割以上の正解を目指す。																						
授業計画																						
授業項目・内容					時間数 (コマ)		教育活動(教材、指導上の注意点)															
1章　原始時代－旧石器時代、縄文時代、弥生時代					1		本時の概略を説明する。 配布プリントをもとにテキストの空欄を埋め、重要箇所をチェックする。 プリントの小問に答える。 校内模試等のやり直しとその解説。 整理プリントの配布とその解説。															
2章　古代前期1－大和時代、飛鳥時代					1																	
2章　古代前期2－奈良時代					1																	
3章　平安時代1－律令体制の崩壊とその際建築					1																	
3章　平安時代2－摂関政治と国風文化、					1																	
3章　院生と武士の台頭、院政期の文化					1																	
4章　鎌倉時代1－幕府の成立、執権政治と元寇					2																	
4章　鎌倉時代2－建武の新政と南北朝、鎌倉文化					2																	
5章　室町時代－幕府と守護大名、応仁の乱と下克上					2																	
5章　北山文化と東山文化、安土桃山時代					1																	
6章　江戸時代1－幕藩体制					2																	
7章　江戸時代2－元禄文化と化政文化					1																	
7章　明治時代1－幕府権力の崩壊					1																	
7章　明治時代2－明治維新と絶対主義の確立					1																	
7章　大陸進出と産業革命					1																	
8章　現代1－大正時代					2																	
8章　現代2－昭和時代前期					2																	
8章　現代3－昭和時代中～後期					2																	
問題演習1－公務員試験問題集での問題演習					25										問題を解き、解説プリントを参考に重要事項や間違いやすいところなどを押さえる。							
問題演習2－公務員試験の過去問、校内模試の問題での問題演習																						

科目名	地理			担当教員名		木村 治敦			☒ 実務経験			
学科名	公務員		学科	学年	1		単位数(時間数)			2単位(50時間)		
実施時期	4 月 ~ 10 月		授業形態	講義	○	演習	○	実習		実技		○は主、△は併用
教科書 及び参考書	高卒程度 公務員試験対策 人文科学テキスト 問題集 センター試験及び過去問											
授業の概要とねらい												
公務員試験合格のため、地理の高卒程度の学力を修得させる。 自然地理から人文地理まで全ての分野について学習させる。 公務員試験の模試問題や過去問題等の演習を出来るだけ多く取り組ませ、試験に慣れさせる。 授業の始めに小テストを行い、解説後、講義を行う。 なお、随時センター試験や過去問演習を行い、実力養成・達成度確認を行う。												
到達目標												
公務員試験の問題において、地理分野の出題の80%以上の正解率を目標とする。												
授業計画												
授業項目・内容					時間数 (コマ)		教育活動(教材、指導上の注意点)					
地図					3		地図の特色を把握し、次に時差の仕組みを理解する。					
気候					3		気候分布の規則性を理解させ、その特色を知る。					
地形					3		実物投影機を使い写真を見せ地形をイメージさせる。					
世界の農林水産業					3		適地適作での作物名と、その生産順位を覚えさせる。					
世界のエネルギーと鉱産資源鉱工業					3		エネルギー資源及び鉱産物の分布と国別発電量を知る。					
世界の工業と都市					3		鉱産物を活用した工業の立地条件と国別特色を理解する。					
世界の国家と文化					3		地図で位置を確認し、覚えさせる。					
日本の自然と産業					3		身近な地形と地名を一致させ、産物と産地も覚える。					
世界の地誌					3		これまでの学習の復習でもある。知識の確認を図る。					
模擬試験演習と解説・実力テスト					23		出来るだけ多くの問題に取り組ませ試験に慣れさせる。					

科目名		理科		担当教員名		上妻 博文		☐ 実務経験															
学科名		公務員		学科		学年		1		単位数(時間数)		単位 (100時間)											
実施時期		4 月 ～ 10 月		授業形態		講義		○		演習		○		実習				実技				○は主、△は併用	
教科書 及び参考書		自然科学テキスト＆問題集																					
授業の概要とねらい																							
国家Ⅲ、地方公務員、警察官等、高卒者の公務員一次入試に対応した学習をする。化学、生物、地学の分野における基礎的な知識や計算法を学習し、過去問などの演習により、記憶の定着化、問題解決の学力向上を図る。																							
到達目標																							
基礎的な用語を理解し、計算力を身につける。最終的には、目ざす公務員試験に合格すること。																							
授業計画																							
授業項目・内容												時間数 (コマ)		教育活動(教材、指導上の注意点)									
(化学)														授業ノート、質問ノート、誤答ノートを作る。 必ず復習して、復習テストの点を上げる。 毎時間、自己点検を記録し、疑問点は質問ノートで解決する。 予習→授業→復習→復習テスト→やり直しの反復練習により、定着を確認する。 校内模試・統一模試は質問ノートを利用して、問題解決を図る。									
物質の成り立ち 原子、結晶、化学反応式												2											
気体の性質 気体の法則、状態方程式												1											
溶液と溶解度 濃度、溶解度、コロイド												2											
化学反応 熱化学、反応の経路、化学平衡												1											
酸・塩基 酸・塩基、水素イオン濃度、中和反応												1											
酸化・還元 酸化数、イオン化傾向、電池と電気分解												2											
無機物質 金属元素、非金属元素、気体、イオン												2											
有機化合物 燃焼、炭化水素、分類と反応												2											
(生物)																							
細胞の構造と働き 構造と機能、温度圧、ホルモン												2											
同化と異化のしくみ 光合成、呼吸、酸素、消化												1											
体液と恒常性 血液の働き、腎臓、肝臓												2											
刺激伝達と反応調節 神経系、ホルモン、反射と行動												1											
遺伝 遺伝の法則、性の決定、DNA												1											
生殖・発生・進化・生態系 細胞分裂と発生												1											
(地学)																							
大気と地球 大気圏、地球の内部、地震、火山												1											
地殻の構成物質 火成岩、堆積岩、造岩鉱物												2											
地球の歴史 地殻変動、プレート、化石と地質年代												1											
水、大気の循環と天気 雨・風、循環、気団と前線、天気												2											
地球・天体の運動 自転と公転、惑星、ケプラーの法則												1											
太陽系と宇宙 太陽系、恒星、HR図、銀河系												1											
(化学) よく出る用語と公式のまとめ												1											
(生物) よく出る用語と公式のまとめ												1											
(地学) よく出る用語と公式のまとめ												1											
(物理) よく出る用語と公式のまとめ												1											
過去問の演習 国家Ⅲ種												6											
過去問の演習 地方公務員												8											
過去問の演習 警察関係												6											
復習問題・解説 化学												8											
復習問題・解説 生物												9											
復習問題・解説 地学												8											
校内模擬試験15回、統一模擬6回、公開模擬3回												22											
												100											
時間外学習について																							
教科書を用いて事前に予習すること。また、前時の復習をして、復習テストに備えること。質問のノートを作り、疑問点の解決を図ること。模擬試験は、自己学習として採点やり直しをして提出する。																							
成績評価の方法及び評価割合について																							
毎時間、自己評価をして提出する。また、復習テストによって達成度を確認する。																							
その他(科目と実務経験との関連性について)																							
授業態度、学習意欲を通じて、基本的生活習慣、向上力、粘り強さを養う。																							

科目名	課題処理			担当教員名		坂本 勝			☐ 実務経験				
学科名	公務員		学科	学年	1	単位数(時間数)			単位 (100時間)				
実施時期	4 月	～	10 月	授業形態	講義	☐	演習		実習		実技		☐ は主、△は併用
教科書 及び参考書	高卒程度 公務員試験対策 課題処理 テキスト & 問題集												
授業の概要とねらい													
公務員採用一次試験合格のための講座として実施する。課題処理は満点を目指す科目であり、基本パターンの習得が重要となる。まずはテキストをメインとして基本パターンを習得し、それを基にした実践問題の解法までを指導する。													
到達目標													
国家公務員一般・税務ではこの科目から7問出題されるが、7問中5問以上とれるようにする。													
授業計画													
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)							
命題と三段論法・論理と集合					2	公務員テキスト③の1テーマ3～4ページを2コマの授業で取り上げ、そのテーマについての問題を補足プリントとして実施する。 期間としては2ヶ月弱となるが、ここでは基礎力をつけていくことが目標で、解くことがむづかしい問題には手を出さない。							
換字式暗号・転置式暗号・分置式暗号・その他、座標など					2								
二集合対応・三集合対応・家系図					2								
定量的順序関係・定性的順序関係・順序関係の変動					2								
リーグ戦・試合数・トーナメント戦					2								
方位・位置関係					2								
手順・数量					2								
道順・一筆書き					2								
等積図・ジグソーパズル・隠された図形					2								
多角形の軌跡・円の軌跡					2								
立体図形の構成					2								
展開図・サイコロ					2								
投影図・折り紙					2								
立体図形の切断					2								
問題演習 論理と集合					2	公務員テキスト⑥の1テーマ4,5問を2コマの授業で取り上げる。 期間としては2ヶ月弱となるが、ここでは本試験レベルの問題を解くことで実践力をつけることを目的とする。							
問題演習 暗号解読					2								
問題演習 対応関係					2								
問題演習 順序関係					2								
問題演習 試合の勝敗					2								
問題演習 方位・位置関係					2								
問題演習 手順や数量関係					2								
問題演習 道順・一筆書き					2								
問題演習 平面図形の数・模様					2								
問題演習 軌跡					2								
問題演習 立体図形の構成					2								
問題演習 展開図・サイコロ					4								
問題演習 投影図と折り紙					2								
問題演習 立体図形の切断					2								
過去問演習 国家一般・税務					6	過去3年ほどの本試験を使用して問題慣れをす る。 時期としては試験直前期から本試験と並行しながらさまざまな種類の試験の過去問題をとくこと で、どのような問題が出題されても対応できる実 践力を高めていく。							
過去問演習 裁判所職員					6								
過去問演習 東京都					6								
過去問演習 東京特別区					6								
過去問演習 東京消防庁					6								
過去問演習 刑務官					6								
過去問演習 海上保安学校					6								
合 計					100								
時間外学習について													
模擬試験誤答ノートの提出													
成績評価の方法及び評価割合について													
その他（科目と実務経験との関連性について）													

科目名	数的処理		担当教員名	坂本 勝		☐ 実務経験	
学科名	公務員	学科	学年	1	単位数(時間数)	単位 (100時間)	
実施時期	4 月 ~ 10 月	授業形態	講義	☐ 演習	実習	実技	☐ は主、△は併用
教科書 及び参考書	高卒程度 公務員試験対策 数的処理・資料解釈 テキスト&問題集						
授業の概要とねらい							
公務員採用一次試験合格のための講座として実施する。数的推理・図形においては、小学校の算数から高校1年の数学までの基礎力確認と、それを基にした公務員試験独特の問題の解法までを指導する。 資料解釈においては、達成率や対前年比など、職業人として必須のデータの読み取り方から問題の解法までを指導する。							
到達目標							
国家公務員一般・税務ではこの科目から6問出題されるが、6問中4問以上とれるようにする。							
授業計画							
授業項目・内容				時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)		
数と式の基本				2	テキストの1テーマを1コマの授業で取り上げ、そのテーマについての問題を補足プリントとして実施する。 期間としては2ヶ月半となるが、基礎力をつけていくことが目標で、ここでは難問には手を出さない。		
約数・倍数・記数法				2			
方程式の応用				2			
連立方程式・不等式				2			
時間・距離・速さ				4			
割合・比				2			
濃度				2			
仕事算				2			
数列、規則、魔法陣、覆面算				2			
その他数量関係				2			
三角形と多角形				2			
円、面積・角度				2			
立体図形				2			
場合の数				2			
順列・組み合わせ				2			
確率				2			
実数と構成比、指数と構成比				2			
増減率				2			
特殊な数表・図表				2			
問題演習 数と式の基本、方程式の応用、連立方程式				4	公務員テキストの1テーマ10数問の中から5問程度を1コマの授業で取り上げる。 期間としては2ヶ月半となるが、ここでは本試験レベルの問題を解くことで実践力をつけることを目的とする。		
問題演習 不等式、速度・距離計算				4			
問題演習 割合・能力、数の並びと規則				4			
問題演習 平面図形、円、面積・角度				4			
問題演習 立体図形				2			
問題演習 順列・組合せ、特別な順列・組合せ、確率				4			
問題演習 数表				4			
問題演習 図表				4			
問題演習 特殊な数表・図表				2			
過去問演習 国家一般・税務				4			
過去問演習 裁判所職員				4			
過去問演習 東京都				4			
過去問演習 東京特別区				4			
過去問演習 東京消防庁				4			
過去問演習 刑務官				4			
過去問演習 海上保安学校				4			
合 計				100			
時間外学習について							
模擬試験誤答ノートの提出							
成績評価の方法及び評価割合について							
その他(科目と実務経験との関連性について)							

科目名	問題演習			担当教員名	木村 治敦			☐ 実務経験					
学科名	公務員		学科	学年	1	単位数(時間数)	単位 (25時間)						
実施時期	4月	～	10月	授業形態	講義	☐	演習	☐	実習	☐	実技	☐	○は主、△は併用
教科書 及び参考書	教科書及び参考書は使用せず、練習問題や過去問題を使用しての授業となる。												
授業の概要とねらい													
公務員採用一次試験合格のための講座として実施する。 事務適性は国家一般・税務合格のため講座として欠かせない。また、近年増えている適性検査・SPIやSCOAにもここでも対応していく。													
到達目標													
国家公務員一般・税務では120問の適性試験があるが、ここで100問以上とれるようにする。													
授業計画													
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)							
適性検査対策/模擬試験					10	適性検査は授業の都度、時間を決めテスト形式で実施する 残りはSPIは言語・非言語分野 SCOA対策をバランスよく行っていく							
SPI対策					5								
SCOA対策					10								
合 計					25								
時間外学習について													
誤答ノートの提出													
成績評価の方法及び評価割合について													
その他 (科目と実務経験との関連性について)													

科目名	英語			担当教員名	倉原 浩二			☒ 実務経験
学科名	公務員		学科	学年	1	単位数(時間数)	2単位 (50 時間)	
実施時期	4 月 ~ 10 月	授業形態	講義	☐ 演習	☐ 実習		実技	
教科書 及び参考書	国語英語文章理解テキスト & 問題集							
授業の概要とねらい								
基本事項を抑え、まとまりのあるパセージを出来得る限り沢山読み、解法を理解し、英文を読み、各問題を解けるようにする。								
到達目標								
公務員1次レベルの英語の問題に自信を持って取り組める								
授業計画								
授業項目・内容				時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)			
5 文型 ・ 英文の読み方 (フレーズリーディング)				1	一般知識 (上)、一般知能、プリント			
時制 ・ 文の種類				1	一般知識 (上)、プリント			
助動詞 ・ 読み物				1				
助動詞 ・ 名詞 ・ 形容詞 ・ 読み物				1				
前置詞 ・ 接続詞 ・ 読み物				1				
不定詞 ・ 動名詞 ・ 読み物				1				
分詞 ・ 分詞構文 ・ 読み物				1				
関係詞 ・ 読み物				1				
比較 ・ 読み物				1				
仮定法 ・ 読み物				1				
文法のまとめ				4	発音、アクセントを含み、演習問題を解く			
模試と解説				2	多く緒過去問にあたり、傾向に即して、問題を解けるようにする			
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2	模試や過去問、またその他の問題路使用する			
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2	定着を図るために、小テスト、やり直しをさせていく			
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
模試と解説				2				
合 計				50				
時間外学習について								
指定された教科書の予習。小テストのやり直しを期日までに提出								
成績評価の方法及び評価割合について								
授業時のパフォーマンスとやり直しの提出で評価								
その他 (科目と実務経験との関連性について)								

科目名	総合演習			担当教員名	坂本 勝			☐ 実務経験		
学科名	公務員		学科	学年	1	単位数(時間数)	単位 (75時間)			
実施時期	4 月	～	10 月	授業形態	講義	演習	○	実習	実技	○は主、△は併用
教科書 及び参考書	教科書及び参考書は使用せず、模擬試験や過去問題を使用しての授業となる。									
授業の概要とねらい										
公務員採用一次試験で最もオーソドックスな教養試験突破のための講座として実施する。										
到達目標										
模擬試験においては正答率6割、過去問題においては正答率7割を目標とする。										
授業計画										
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)				
校内模試①～⑮					45	授業と並行し範囲ごとに得点力を身につける。				
過去問題刑務官(R4～R6)					9	易しめの問題を使用し実力の確認をする。				
過去問題国家一般税務(R3～R6)					12	過去問題を使用し実戦力をつけていく。				
過去問題裁判所職員(R4～R6)					9	過去問題を使用し実戦力をつけていく。				
合 計					75					
時間外学習について										
誤答ノートの提出										
成績評価の方法及び評価割合について										
その他 (科目と実務経験との関連性について)										